

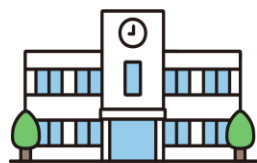
部活動地域展開 地区別説明会 資料

令和8年6月22日（月）～7月2日（木）

佐倉市 教育委員会 指導課

1.なぜ部活動地域展開を進めるのか？

1.なぜ部活動地域展開を進めるのか？ ～これまでの部活動の形～



自分の通う学校が活動場所



学校の先生が顧問として指導



学校にある部活から選んで参加

【課題1 少子化】

- ❑ 急速にこどもの数が減っています
- ❑ これにより部活動の種類が減少しています
- ❑ やりたい種目を諦めるケースが増えています

【課題2 教職員の多忙化】

- ❑ 少子化に伴い、学校の先生の数も減っています
- ❑ 一方で先生に任される仕事の量は増えています
- ❑ 結果的に1人の先生にかかる負担が増大しています

【課題3 指導の専門性】

- ❑ 先生の中には、競技経験のない種目を任されることがあります
- ❑ 大きなプレッシャーの中、先生方も一生懸命教えてくれますが、競技経験のある人にはどうしてもかきません

テニスをやってみたかったけど、学校に部活がないから他の部活で我慢するか、、、

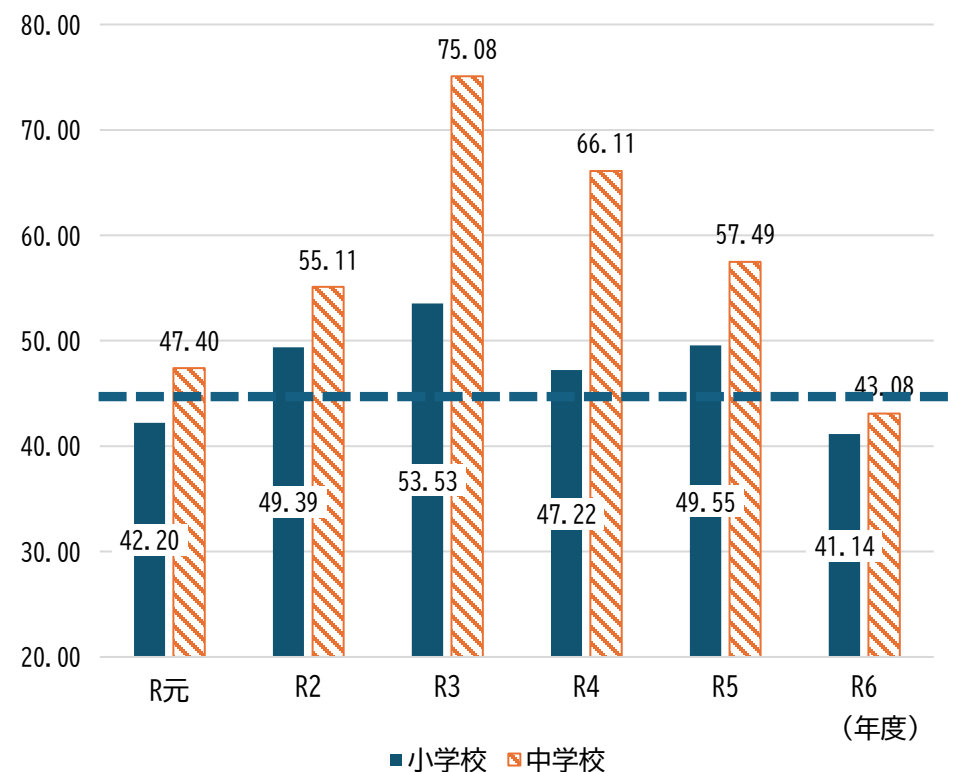
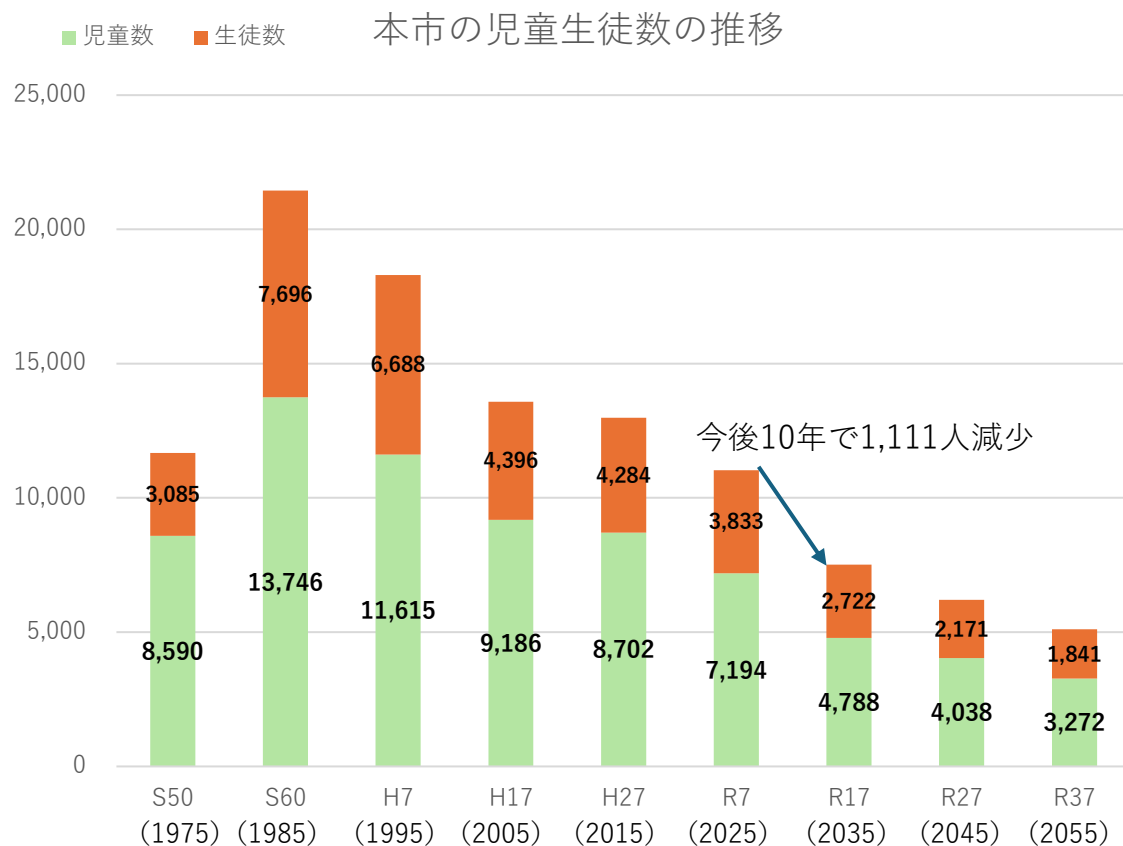


生徒の要望には応えたいけど、やったことのない競技だし、限界があるよ、、、

もっと上達したいから、専門的な人に教えてもらいたい！



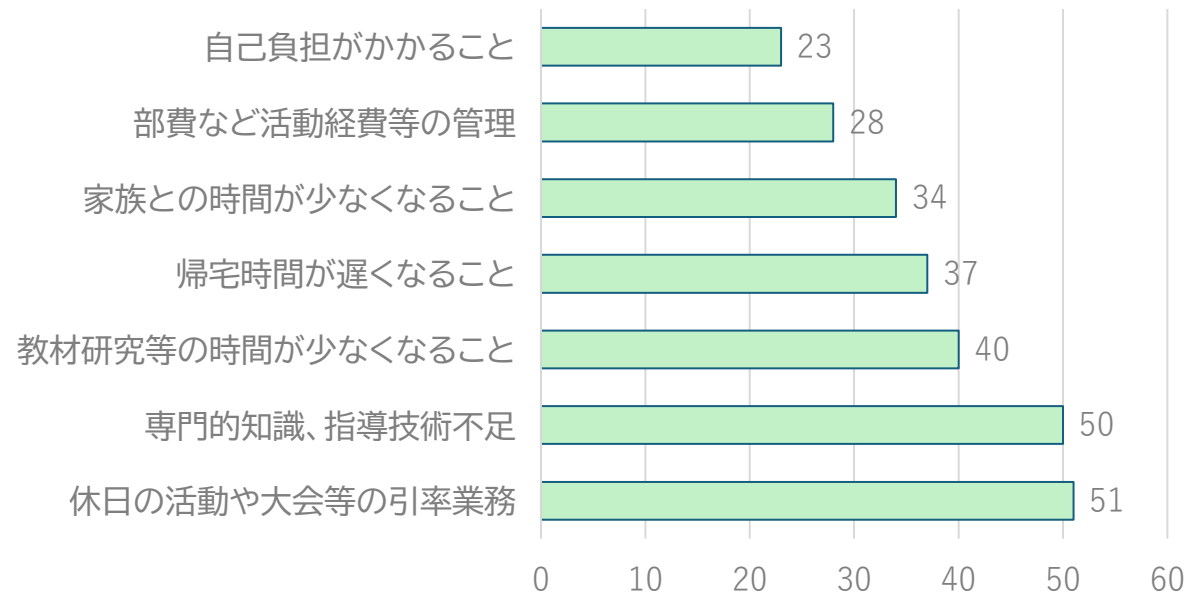
1.なぜ部活動地域展開を進めるのか？ ～佐倉市の現状（児童生徒数・教職員の在校等時間）～



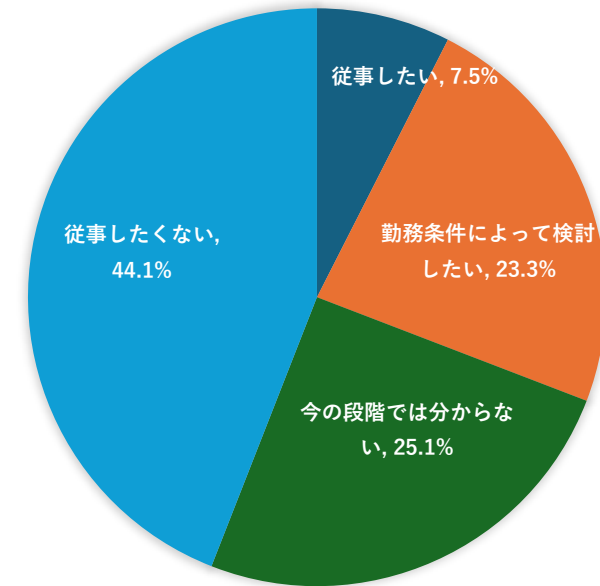
佐倉市におけるこれからの学校のあり方に係る基本方針データを一部編集

1.なぜ部活動地域展開を進めるのか？ ～佐倉市の現状（教職員へのアンケート）～

部活動顧問で負担を感じる事



地域クラブ指導者への従事意向



令和6年度・7年度佐倉市実施アンケート結果から

1.なぜ部活動地域展開を進めるのか？ ～学校部活動から地域クラブへ転換の必要性～



自分の通う学校が活動場所



学校の先生が顧問として指導

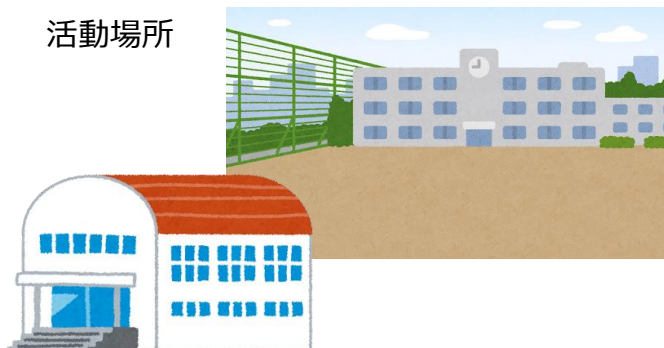


学校にある部活から選んで参加



これまで学校内の人的・物的資源によって運営されてきた活動を広く地域に開き、地域全体で支えていく

活動場所



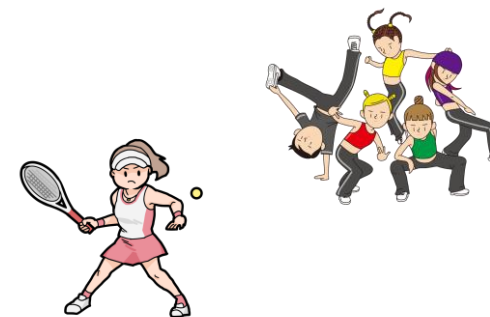
学校以外の活動場所
例) 企業や大学のグラウンドや体育館

人材



競技を教えたい、楽しさを伝えたい方

競技



学校にはないクラブやサークル

2.佐倉市における取組みの方向性

2.佐倉市における取組の方向性

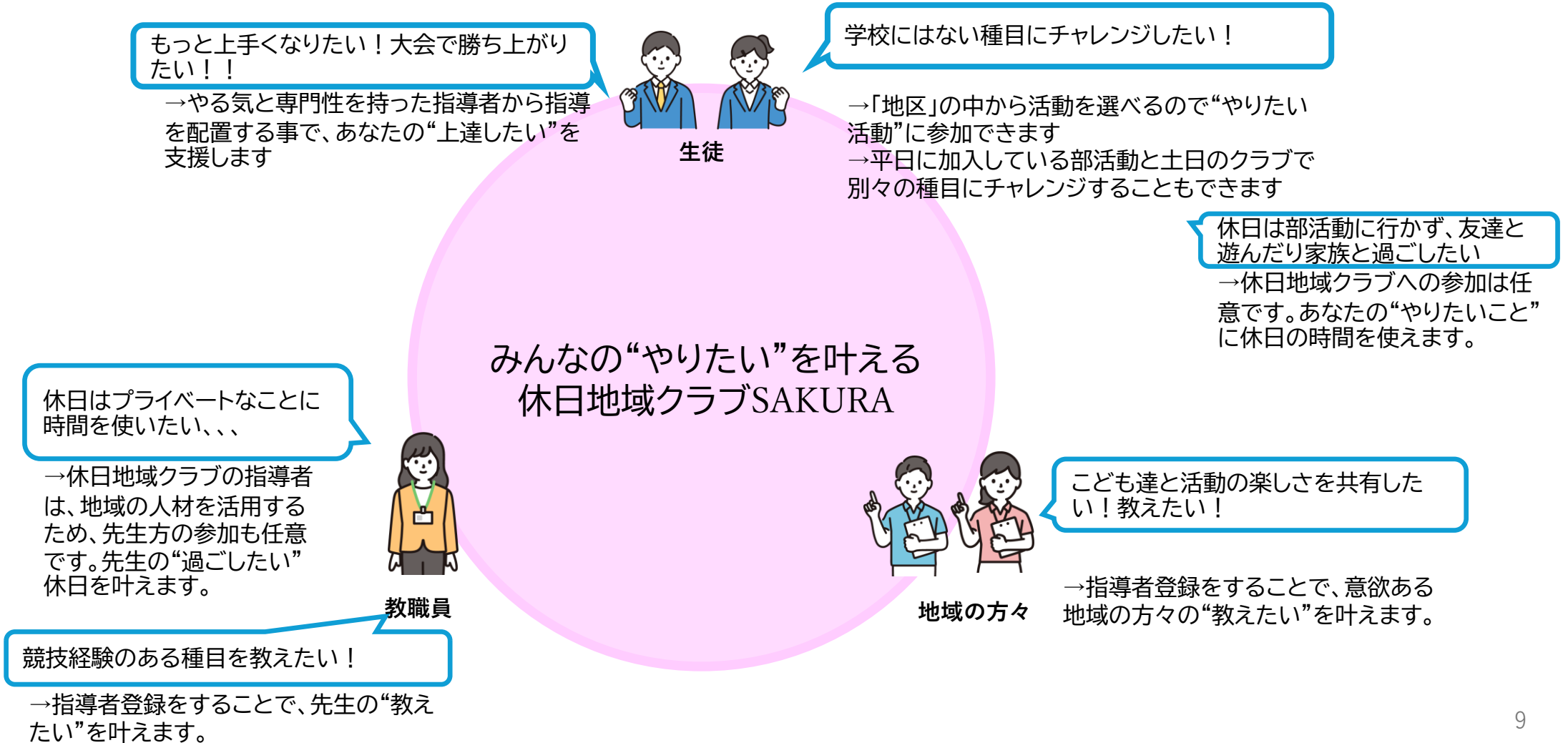
①近隣の学校との合併

- ・ 人数を確保し、充実した練習ができる環境をつくる
- ・ 自分の学校にはない種目を選択できる環境をつくる

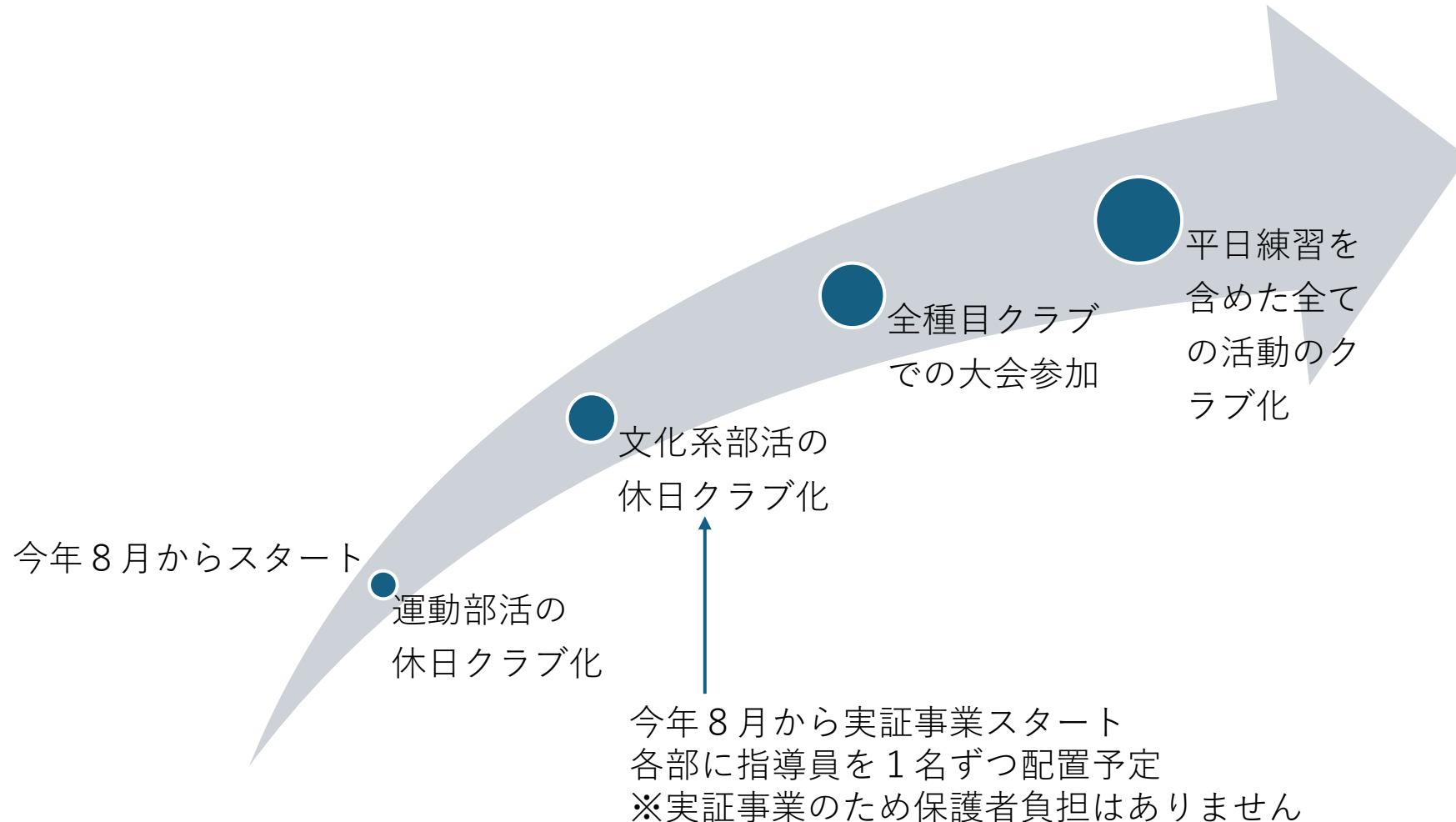
②地域人材の活用

- ・ 専門的な指導を受けられる環境をつくる
- ・ 教職員が土日の指導をする・しないを選択できる環境をつくる

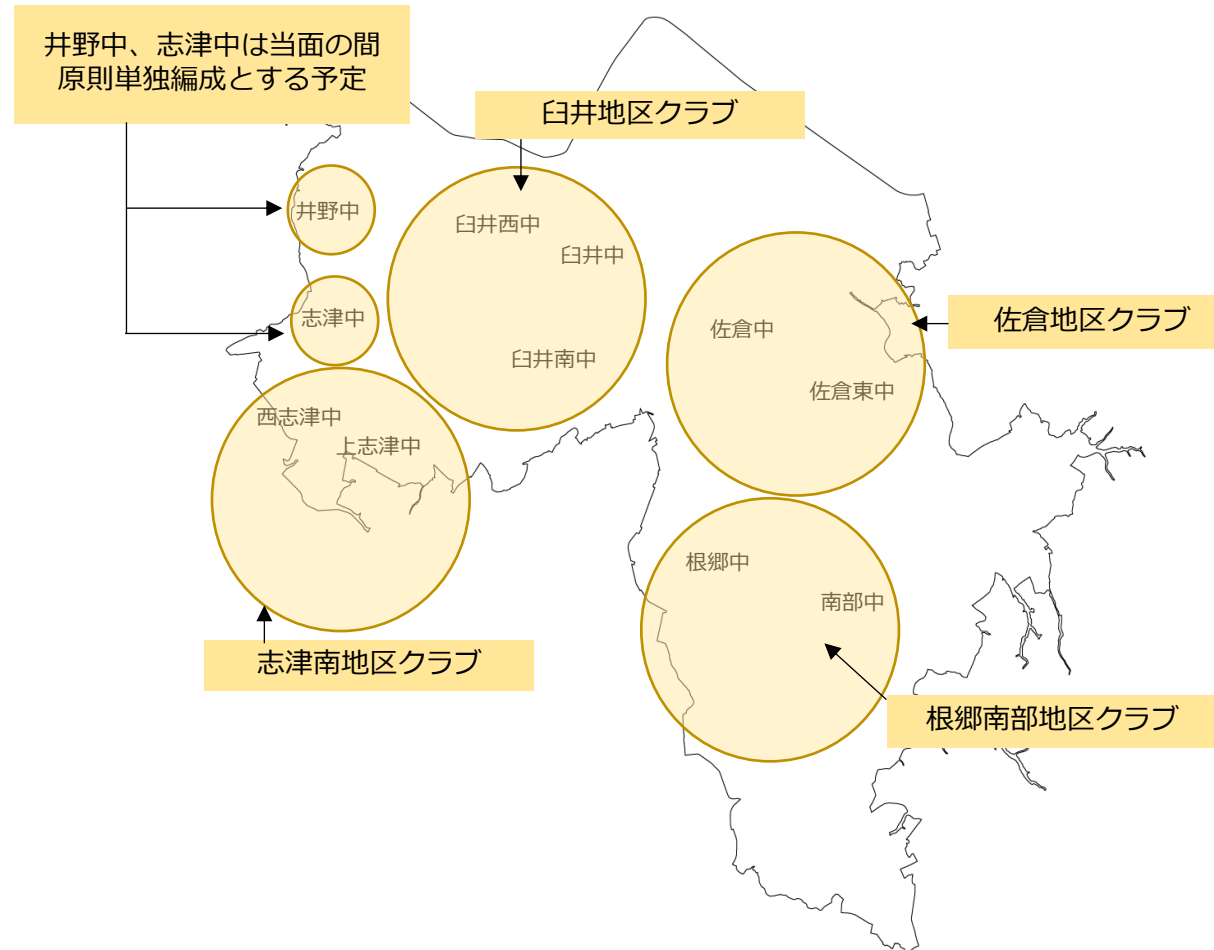
2.佐倉市における取組の方向性 ～みんなの“やりたい”を叶える休日地域クラブSAKURA～



2.佐倉市における取組の方向性 ～休日地域クラブSAKURAの進め方～



2.佐倉市における取組の方向性 ～休日地域クラブSAKURA活動エリア図～



2.佐倉市における取組の方向性 ～休日地域クラブSAKURA運用ルール～

【原則】

生徒数の多い志津中、井野中を除いて、原則活動エリア図内の学校で1つのクラブを編成する。

【例外】

- ① 志津中・井野中においても、人数の少ない種目や、1校にしかない種目は、2校で1つのクラブを編成する。
- ② 活動エリア図内の学校が合併することで、人数が多くなりすぎる種目については、別々のクラブ編成とすることもある。

2.佐倉市における取組の方向性 ～ 8月以降の主な変更点～

8月以降の活動の主な変更点

①チームのメンバー構成

学校ごとではなく、原則近隣の学校との合同チームになります

②活動場所

自校または合併する相手校の施設になります

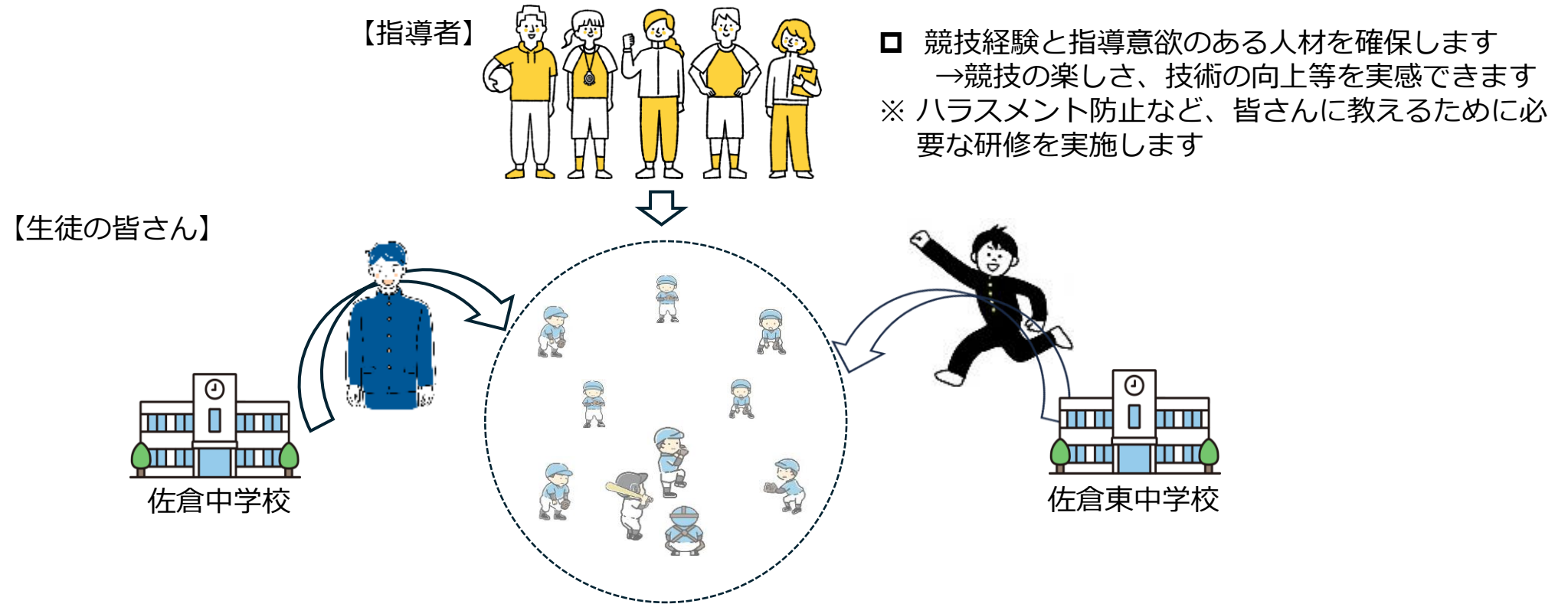
③指導者

競技経験と熱意のある地域人材になります（兼職兼業希望の教職員含む）

④受益者負担

地域クラブ活動を支えるため、受益者に事業費の一部をご負担いただきます

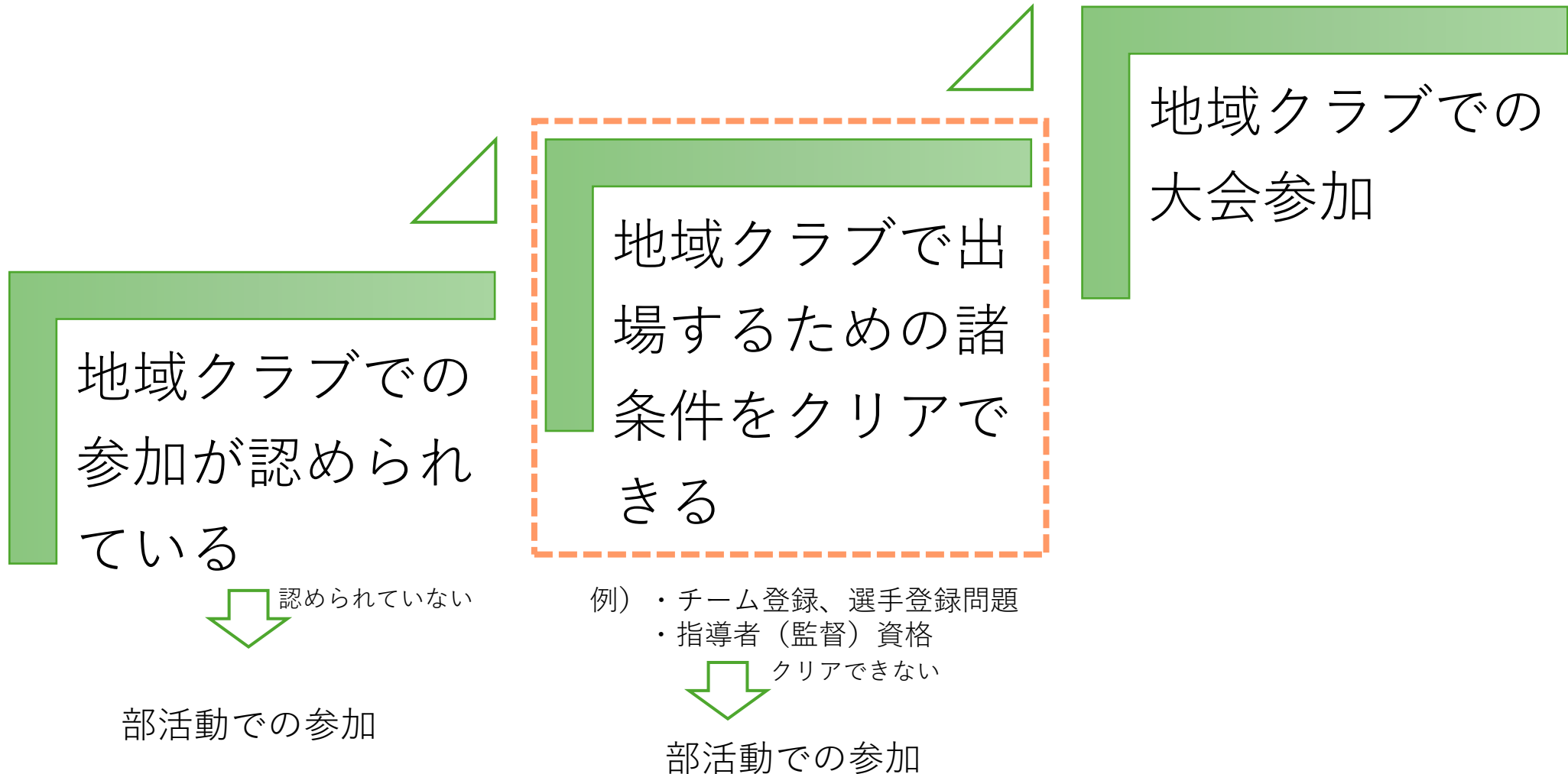
2.佐倉市における取組の方向性 ～ 8月からの活動イメージ～



- それぞれの学校から、その種目をやりたい生徒が集まって1つのチームを編成します
→自分の学校にはない種目も選択できるようになります
- 他校の生徒と一緒に練習します
→人数が増えるので、充実した練習と新たな繋がりが生まれます

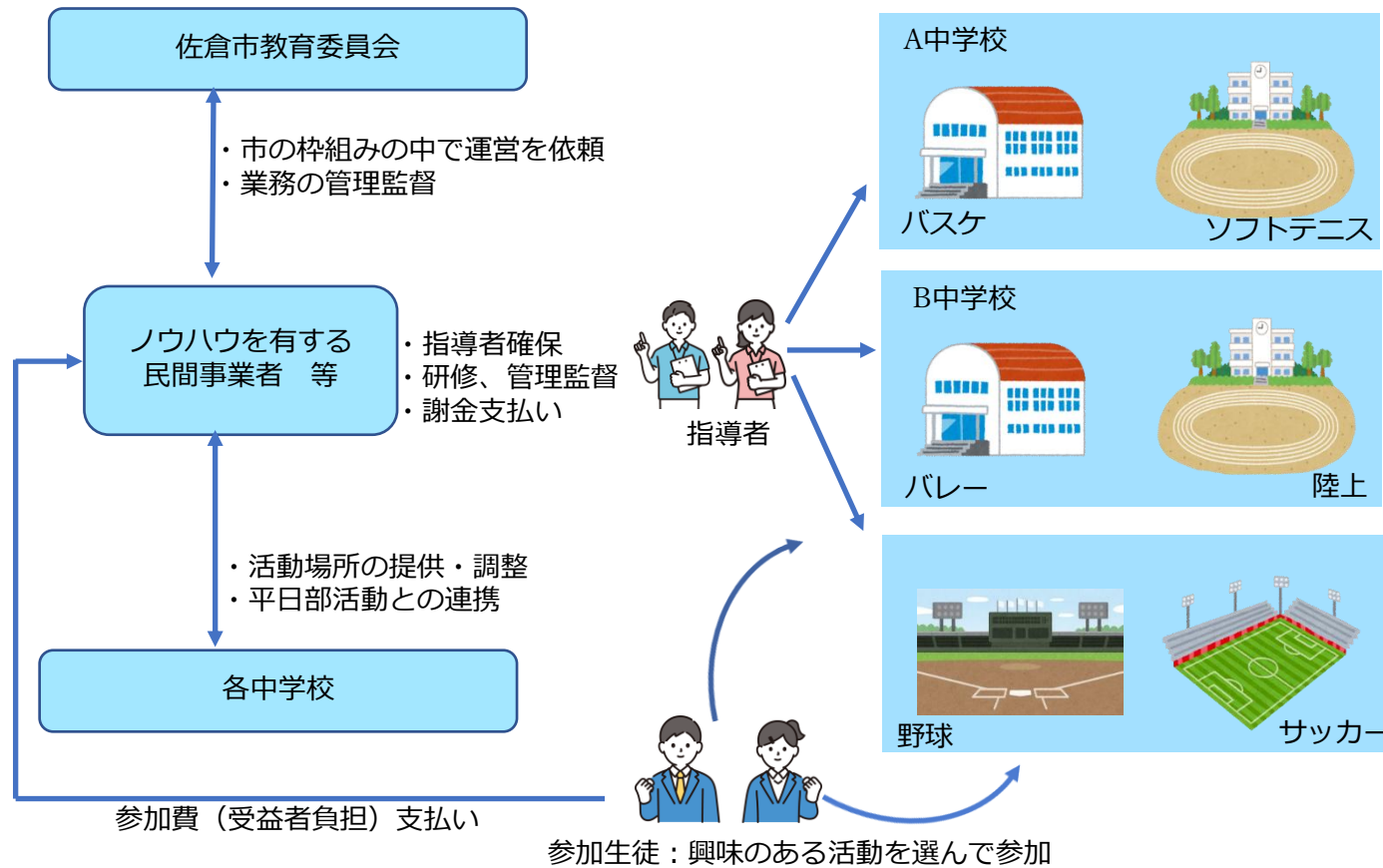
3.大会参加の基本的な考え方

3.大会参加の基本的な考え方



4. 受益者負担について

4. 受益者負担について ～受益者負担の必要性～



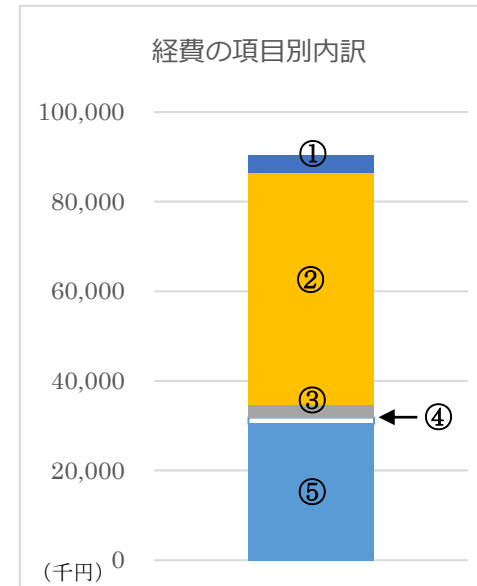
佐倉市においては、練習場所については引き続き学校施設の使用をメインに考えているため、施設使用料などはかからないが、指導者への謝金や運営にあたって必要な経費を公費と参加者による負担金で賄っていく必要があります。

4. 受益者負担について ～受益者負担の考え方～

1 保護者負担額について

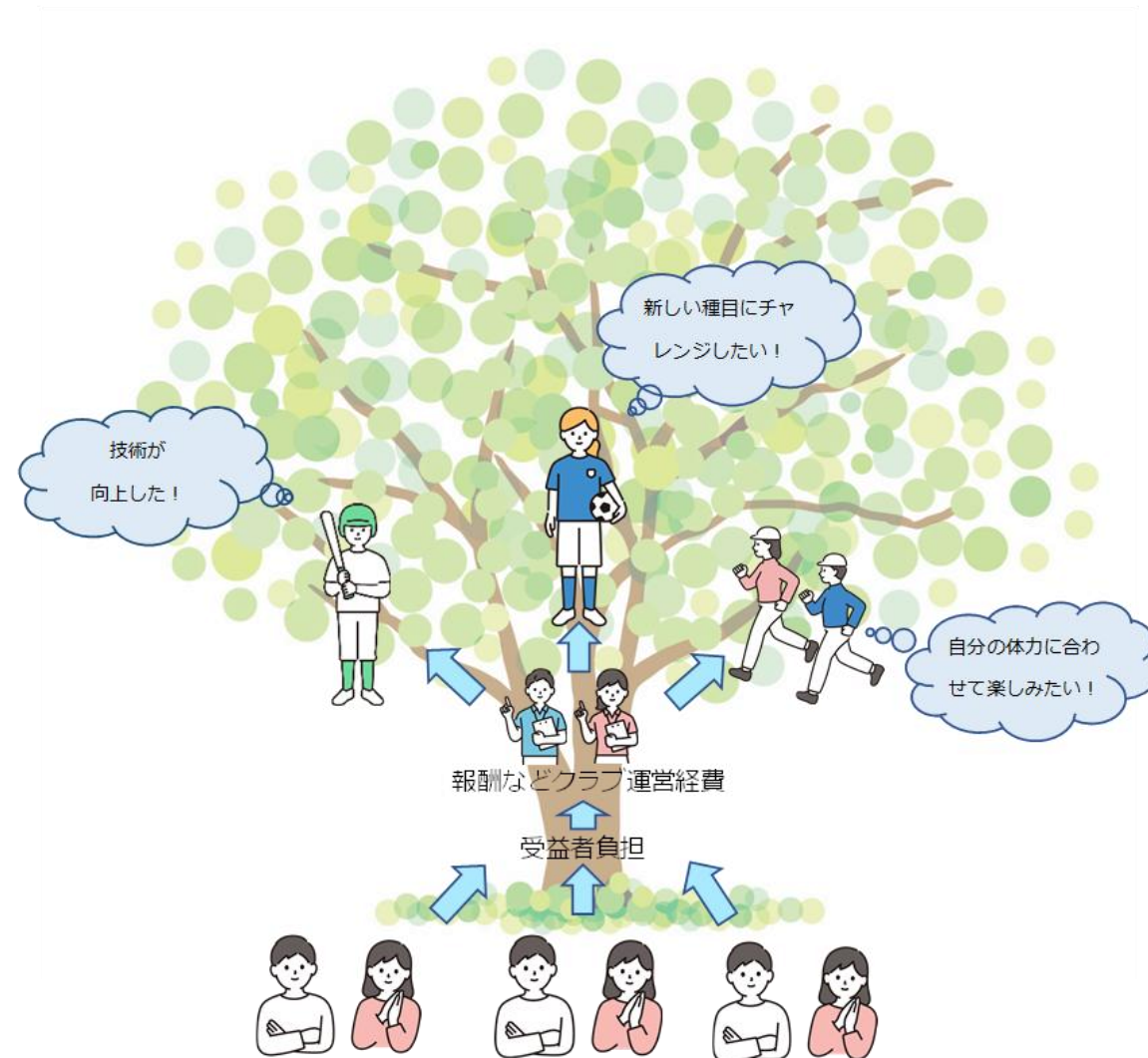
本取組みを持続可能な取組みとしていくため、
本市では「生徒が受けるサービスに直結する経費」を
参加者にご負担いただくことを原則に保護者負担額を
算定することとしました。

①生徒に要する経費（保険等）	3,817 千円
②指導者に要する経費（謝金）	51,691 千円
③指導者研修費、保険、アプリ等	2,889 千円
④活動用消耗品	1,478 千円
⑤事務局経費	30,383 千円
	<u>90,259 千円</u>



- (ア) 生徒が受けるサービスに直結する経費 55,508 千円
(イ) 参加目標人数 1,680 人（内、要保護・準要保護人数 217 人は受益者負担無し）
(ウ) 1人あたり負担額 (ア) ÷ (イ) = 37,941 ≒ 37,000 円
(エ) 年間登録料：5,000 円 + 月会費：4,000 円 × 8 か月と設定
※要保護・準要保護の生徒 217 人 × 37,000 円 = 8,029,000 円は公費負担とします

4. 受益者負担について ～受益者負担の考え方～



5. 8月からの地域展開開始に向けて

2.佐倉市における取組の方向性 ～地区別立上げ予定のクラブ一覧～

地区名	学校名	柔道	剣道	野球	サッカー	ソフトボール	陸上	卓球	水泳	バドミントン	バスケット		バレー		ソフトテニス	
											男子	女子	男子	女子	男子	女子
佐倉地区	佐倉中	○ 市内で 1チーム (佐倉地区)	○	○	○	臼井地区 へ参加可	○	○	○ 市内で 1チーム (志津地区)	志津地区 へ参加可	○	○	臼井地区 へ参加可	○	○	○
	佐倉東中															
根郷南部地区	根郷中		○	○	○	臼井地区 へ参加可	○	佐倉地区 へ参加可		志津地区 へ参加可	○	○	臼井地区 へ参加可	○	○	○
	南部中															
臼井地区	臼井中		○	○	○	○	○	○		志津地区 へ参加可	○	○	○	○	○	○
	臼井西中															
	臼井南中															
志津南地区	西志津中		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	志津地区 へ参加可	○
	上志津中															
志津地区	志津中		○	○	○	○	○	井野地区へ 参加可		○	○	○	臼井地区 又は 志津南地区 へ参加可	○	○	○
井野地区	井野中		志津地区 へ参加可	○	○	志津地区 へ参加可	○	○		志津地区 へ参加可	○	○		○	○	○

6. 8月からの地域展開開始に向けて ～無料体験でぜひ地域展開をお試ください～

